



B!-co
TOKAI・Build
Build-communication

2014
Vol, 41

PRIUS AMITY【プリウス・アミティ】

～濃淡の緑～

あま市七宝町

(設計:東海・ビルド一級建築士事務所・施工:株式会社 東海・ビルド)



Concept

あま市に建つデザイナーズ賃貸マンション。

静かな立地に建ち、住まうにはとても良い周辺環境です。
シンプルな形の中に、外壁に貼られるタイルを2色使いとすることで、
周辺にはない個性ある外観となりました。
間取りは、各住戸に収納を多く取ることによって、
居住性にも配慮した住空間としています。



【工事部】吉川英利

C : Construction

今回は、あま市で久しぶりに施工させていただきました。
鉄骨2階建のマンションですが、エントランスにタイルを貼り、アクセントをつける事が出来ました。
内部は暖かい雰囲気で、入居者様に喜んでいただけると思います。



【営業部】丹羽崇義

D : Operation

この物件は、あま市で初めての共同住宅の建築になります。管理会社に状況を密に確認し、計画は市場調査からスタートしました。外観もタイル貼りとサイディングで貼り分け、スタイリッシュで入居者様も単身者から新婚様までニーズがあります。また、これも市場調査の結果から、特に防犯面に配慮した計画になっています。



【設計部】渡邊久芳

F : Architects

お客様が選ばれた深緑と薄緑の2色の外壁タイルが特徴的な外観です。
内部も広々として、とても住みやすい住戸になったと思います。
また、近隣環境、防災の観点から1階床高さを設定するなど、住空間以外にも配慮した計画となっています。

- ①. 正面外観。キューブな3つの箱型。
- ②. シンプルでシャープな外観。
濃淡の緑色45二丁掛けタイルが映えます。
- ③. シャープなマンションネーム。
- ④. 2つの緑色タイル壁に囲まれたエントランス。
- ⑤. 明るく広々とした室内空間。
- ⑥. 白を基調とした柔らかい色使い。
- ⑦. 収納もたっぷり確保。

- 建物名 — PRIUS AMITY(プリウス・アミティ)
- 所在地 — あま市七宝町
- 構造 — S造2階建
- 建物構成 — 1LDK×8戸
- 面積 敷地面積 — 554.13m²
建築面積 — 270.15m²
延床面積 — 478.70m²
- 1LDK×8戸
(Aタイプ51.90m²×2戸、Bタイプ46.80m²×6戸)

1



Sketch Book



外観パースを幾つも作成し、仕様等を決定していました。



オーナー様との記念写真をパシャリ!!



マンションネームのバリエーション案。

7

N邸住宅改装工事 〈尾張旭市〉

ご両親から引き継いだ家を家族と2匹の猫ちゃんのために、住み心地良く改装したいとの願いから始まった今回のリノベーション。

鉄骨造の改装は難しいため引き受けられないと、他社さんで断られた経緯もあり、「東海・ビルドさんだったら出来ますか?」と最初は不安で一杯のN様でした。

コストを抑えるためもあり、改装の範囲を基本性能を上げる断熱とペアガラスサッシ、生活のメインとなる1・2階部分に絞って行いました。



黒を基調としたシックな佇まい。



コーナーの柱型を利用して作ったキャットタワー。



Before



Before



ぼくも
登っちゃう
ぞ~!!



猫ちゃんのためのくぐり戸を…

息子さんもスルリ。
楽しそう!!



存在感のある銘木ダイニングセット。
窓際のカウンターも銘木です。



[工事部] 奥村 雄三

C : Construction

鉄骨3階建ての改装工事でした。

外壁は一新し、サッシまで交換。骨組を切断補強して内部も2階部分は全面改装。残せるものは残し、お客様のこだわりも入れ込んで進みました。天井・壁に断熱材を入れ直し、快適な生活が出来る様になったと思います。



[設計部] 深見直子

F : Architects

元々はある会社の事務所と社員寮として使われていたため、玄関までの動線や断熱機能が住宅としては不自由な造りでした。

改装の基本方針が決まってからはN様自ら様々な材料や設備を探してこられ、最終的にはリビングの壁の珪藻土もご家族と塗って頂きました。



新しく造った玄関スペース。
ご主人希望の打放しクロスがいい雰囲気です。

メリイ・メリイヘアハウス今池店 <千種区>



白いフレームに古レンガ調のタイルと合わせたシンプルなデザイン。



シャンプー・コールドスペースは区画されて見えないように配慮。



待合室の壁は普通のクロスにシートで草花をデザイン。

デリスクエア(旧ピアゴ今池店)の2階コーナースペースに計画されたヘアサロン。コーナーの特性を活かして大きな円弧の入り口から左右に待合室とカットスペースを振り分けた。正面レセプションカウンターでお客様の流れをコントロールできる配置計画。



オープンとともに多くのお客様をお迎えしています。



【工事部】加藤英士

C : Construction

デリスクエア2階の一部区画での施工でした。工期は2週間と短かったため、品質を確保しつつ、いかに効率よく工事を進めることができるかを常に考えておりました。工事が終了したときはかなりホッとしたしました。今度は是非お客様としてお店に行ってみたいと思います。



【設計部】森 昭夫

F : Architects

建物自体は5階建てであったものを2階建てにする増築ならず減築がされたもの。この中の計画は新築建物とは異なる制約が多く、その中でいかに効率良くお客様に楽しんでいただける店作りができるかがポイントでした。

INFORMATION

名古屋市千種区今池1-30-6 デリスクエア2F(旧ピアゴ今池店)
TEL. 052-732-2031

◆営業時間／AM10:00～PM8:00 ◆年中無休

<http://merry2hair.com>



元町珈琲～愛知徳重の離れ～〈名古屋市緑区〉



メインストリートから見る全景。平屋建てとは思えないボリューム感。



建物の高さがあるので、外壁に設置されたサインも視認性抜群。

緑区に皆様ご存知の元町珈琲が完成しました。

計画地は新店舗が立ち並ぶメインストリートに面していますが、すぐ西側は閑静な住宅街という立地であり、通りからの視認性と住宅地への配慮から建物配置が決定されています。

建物は通りに対して斜めに配置され、残された三角地帯が庭となることで、客席に広がりと豊かさを与えます。内部は港町元町の異国情緒と和の融合がコンセプト。くつろぎと癒しの本物空間を一度体感してください。



間仕切りの絶妙な開放感により、広がりと落ち着きを生む客席。



異国情緒溢れる内装。ウッドブラインドから優しい光が差し込む。



ダイナミックに連続する室内的底。



落ちていた雰囲気の喫煙席スペース。



C : Construction 【工事部】田中治重

東海地方でフランチャイズ展開をされている元町珈琲様の新店を、名古屋でも活気のある緑区徳重に建築する工事でした。

工事としては質・量ともにハイレベルで、工程の管理には苦心しましたが、完成の時には充実感を味わえました。

INFORMATION

名古屋市緑区鳴海町字神ノ倉3-37

TEL. 052-842-9800

◆営業時間／AM7:00-PM11:00
(ラストオーダーPM10:30)



D : Operation 【営業部】大上隼人

地主様より「地域の皆様に喜んで頂けるお店として活用してほしい」とご要望があり、元町珈琲様をご紹介致しました。建物も非常にデザイン性が高く、高級感漂うホテルのロビーのようです。リーズナブルな値段でここまでクオリティーの高さ、皆様是非お立ち寄りください。



F : Architects 【設計部】増田陽介

ハイクラス喫茶店「元町珈琲」が徳重に完成しました。建物デザインは東京の店舗デザイナー・吹山先生に依るもの。思いもつかないような発想の連続で、大変勉強させて頂きました。店内にある4つのホールそれぞれで景色が異なり、建物も食事も堪能できる建物です。

ボーテ藤が丘東店・ぱんBOX 〈長久手市〉



白を基調とした綺麗なシンプルデザイン。



木の香りと共にお客様を迎えるBOXの出入口。



清潔感のある内装に仕上った。



広々とした待機スペース。

長久手市の西エリア、藤が丘に程近い場所に「コインランドリーボーテ」が誕生しました。当社では2棟目となりましたが、今回はFC加盟店様との御縁です。新規出店毎に進化していく「コインランドリー」ですが、この度は土地の諸条件を考慮し、パン屋さんとのコラボレーションとなりました。店舗デザインはFC店オーナーのお義兄さん、パン屋オーナーは従兄さんと色々な繋がりからできたお店です。コインランドリーとは思えないオシャレな外観が一際目を引く、街並みに溶け込む建物です。



木の暖かみを感じる落ち着いた雰囲気。



美味しいパンをより惹きたてる木のテーブル。

C : Construction 【工事部】水野 裕高



外壁の木部デザインは特に施工に苦労しましたが、出来上がりを見ると「良く出来たな」と思うほどの仕上り。内部もコテ仕上げの壁やデザインクロスなど、内部・外部共雰囲気の良い建物になりました。

INFORMATION

長久手市作田2-101

- ◆ 営業時間／AM5:00～PM12:00(コインランドリー)
AM8:00～PM7:00(ぱんBOX)
- ◆ 定休日／コインランドリー：年中無休
ぱんBOX：火曜日、第1・3月曜日

D : Operation 【営業部】松岡 慶洋



長久手市内の見通しの良い交差点に、長い間畠をされていた土地があり、2年前に地主様に無理を言ってテナント誘致の看板を立てさせて頂きました。今回のコインランドリー＆パン屋となり、OPEN時には沢山の人に来店頂き感謝しています。

F : Architects 【設計部】井上直之



今回の計画は店舗設計を得意とする施主様のご兄弟がおみえで、基本計画をそちらでお願いし、実施設計を当社で行いました。現場が始まってからも「デザイン」に対するこだわりが物凄く、細かい納まりや色使い一つ一つがとても参考になり、今後の良い刺激となりました。



トーシック〈守山区〉

設計／東海・ビルド一級建築士事務所 施工／株式会社 東海・ビルド



イメージ通りの外観デザインに仕上りました。



【工事部】田中治重

C : Construction

本社事務所と同一敷地内にある既設の倉庫を解体して、倉庫の新築と駐車場・アプローチの整備をするという工事でした。

本社の営業に支障が出ない事を第一に考え、アプローチの切り替えなどは極力休日作業を取り入れるなどの工夫をして、社員の方にも安全な工事ができたと思います。



【営業部】草川直樹

D : Operation

建設敷地内で本社を構えられ、営業をされている中の倉庫解体・新築工事となりました。

通行の際の安全確保や資材の搬入時期などを入念に打合せをさせて頂き、無駄のない工事を進めることができたと思います。

トーシック様本社社屋と同一敷地内にある老朽化した倉庫を解体し、倉庫の新築と外構整備(駐車場・アプローチ・サイン等)をする計画でスタート。営業しながらの工事であるため工程管理・安全対策等のソフト面、倉庫の機能を十分満たすように耐久性と耐候性等に重点を置いたハード面、あらゆる面に配慮しながら計画・工事を進めました。さらに、本社社屋と調和のとれた色彩計画と敷地内全体を再整備することにも配慮しました。



パースを作成し、建物の外観を確認しました。

御菓子処たか柳 店舗併用住宅〈北名古屋市〉

設計／tsuboi design workshop 施工／株式会社 東海・ビルド

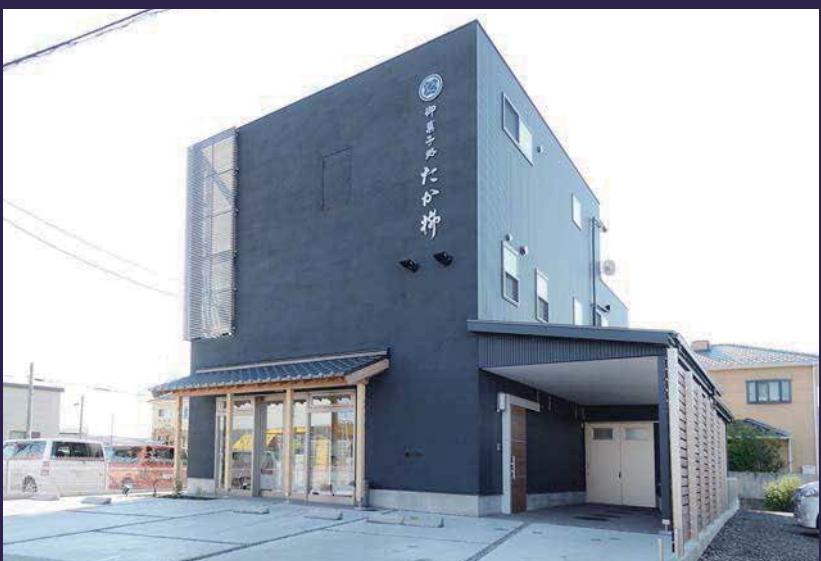
黒で統一した外観と、光を室内の隅々まで取り入れた内部。木を生かした3階建ての木造、無垢の床板等々。ふんだんにある収納と落ち着いた和室、広いバルコニー。1階の機能性を追求した和菓子の作業スペース。ご主人が細部に心を配った店舗と店の看板ロゴ。数え上げればきりがないほどのお客様と設計事務所のこだわりを、東海・ビルドのチームで形にできました。



【工事部】田中治重

C : Construction

以前からお世話になっている設計事務所様からご紹介頂いた物件です。設計事務所様と施工様は色々なこだわりをお持ちで、高い窓の位置・無垢の床材・建具枠をつけないシンプルな内装と、シックにまとめた外観には感銘を受けました。施工様の店舗部分にかける情熱や作業スペースのこだわりなど、仕事に対する妥協しない姿勢に応えようと要求を頂いたことには、ほぼ応えられたと思います。



モダンなデザインで統一された外観。

INFORMATION

北名古屋市高田寺屋敷521-3 TEL. 0568-21-0421

- ◆ 営業時間／AM8:00～PM7:00
- ◆ 定休日／水曜日(祝日の場合営業)



東海・ビルド「社員研修の旅in東京」のご報告

当社HP内のブログで設計部→工事部→営業部と一日ごとにブログをUPしていましたが、ご存知でしょうか…。

今回の「B!-co」では、東海・ビルドの東京研修の風景を紹介します。



ヘルツォーク&ド・ムーロン設計、
プラダ ブティック青山店。
菱形のガラスが特徴的で面白く、
建築の可能性が拡がり続ける!!



表参道を自由に散策
匂いを嗅ぎ分け名建築を見つけ出せ!



C(工事部):施工方法と納まりをチェックしないと…。
O(営業部):事業計画が成り立つには工事予算はコレくらいかなあ～。
A(設計部):この部分のデザインはコストも抑えて施工もしやすいのでは!



吉阪隆正設計による八王子セミナーハウス。
地面に三角形の楔を打ち込んだようなデザインに驚きを隠せない。



安藤忠雄&日建設計の共同設計による国際こども図書館。
建物の原型保存に努めつつ行われた改修工事も終了し、
新しい機能と空間を併せ持った建物へと変化しました。



森所長～～。
何を撮影して
いるんですか?



森所長:マンションのデザインに取り入れてはどうかな～。

建築見学ツアー 第7弾

建築を体験しよう! IN 京都のご報告

皆様のおかげで、第7弾となりましたこの企画。
今回は第1弾で訪れた京都へ行ってきました。
人数も沢山増えて、よりパワフルなツアーに。
一部、2班に分かれ別々の場所を見学する初めての
試みとなりました。



1 松花堂庭園

ガイドの方の説明に、
皆さん、聞き入って
おられました。



まずは、松花堂庭園へ到着。広大な庭園は「史跡松花堂」等の文化財を有し、枯山水の露地庭は雅趣そのもの。梅花・椿花・桜花・若葉・深緑・紅葉など四季を通して優美な景観が観られる癒しのポイント。



2-A班 聽竹居(ちょうちくきよ)

80年前に設計・藤井厚二により建てられた「聽竹居」。
藤井は自然を生かす建築計画とデザイン、自然素材の利用、洋と和の生活様式の統合により、環境共生型の快適な住宅の実現を目指して5回の実験住宅を試みた。
その創意工夫のレベルの高さに、一同驚嘆!!



2-B班 祇園散策

格子戸の続く家並みには往時の風雅と格調がしのばれる。
北部地区は国的重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。
南部地区は京都市の歴史的景観保全修景地区に指定されていて、
町並の奥深さを充分味わいました。



3 東華菜館【北京料理】昼食

A班・B班がここで合流。ヴォーリズ氏による設計、生涯唯一のレストラン建築。
特に玄関ファサードで印象的な海の幸・山の幸等食材のモチーフは、館内にちりばめられており、目を楽しませてくれます。美味しい北京料理と一緒に堪能しました。





4 国立京都国際会館

日本で初めてとなる公開設計競技方式(コンペ方式)が採用され、195の応募作品の中から大谷幸夫氏の作品が最優秀作品に選定されました。

日本建築の伝統美を活かしつつ国際会議場としての美しい立体面を構成しているということで、完成当初から高い評価を得ています。

年月を経て、楽しみを増した建築に驚きました。



5 グランドプリンスホテル京都 (旧京都宝ヶ池プリンスホテル)

「グランドプリンスホテル京都」は設計・村野藤吾氏の遺作。

楕円形の建物はドーナツ状になっており、真ん中に中庭をつくり、それを囲むように客室が配置され、周辺の景観にじむような意匠的配慮がなされています。施設内にある茶室を所長の森による解説で、第7弾建築ツアーの幕を閉じました。



皆様、ご参加ありがとうございました。
次回のツアーもお楽しみに!
詳細は次号イベントB!-coにて
ご案内いたします。乞うご期待!



○×クイズと言えば奥村!!
帰りのバス、皆さん元気で盛り上がりました!
最後の最後まで皆さん、楽しんで頂けましたでしょうか?!

■ビルド通信

新年の御挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別の御厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで弊社は「憧憬舎離宮」をリニューアルオープンすることができました。

一企業の努力だけではカバーしきれない流れの中、

消費税の増税による駆け込み受注、資材の高騰、人手不足等

あらゆる業種の企業が非常に厳しい状況に直面しています。

「お客様に喜んで頂く」という基本に立ち返って、地道に一つずつ、

目の前のできることから取り組んで参りたいと存じます。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願ひ申し上げます。

末文ながら皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

代表取締役社長 大上 功



■ビルド・コミュニケーション

2014年より「イベントBi-co」創刊!!

今までB!-co内にて行ってきました建築ツアーのご案内、憧憬舎離宮より発信してきましたフラワーアレンジメント教室や料理教室イベント等のご紹介を、新たに「イベントBi-co」として創刊し、掲載してまいります。さらに「イベントBi-co」はマンションや住宅の見学会の御案内など、内容盛りだくさんで順次発刊していく予定です。

どうぞご期待下さい!



新年あけましておめでとうございます。「B!-co」編集部です。

年末年始はゆっくりと過ごされましたでしょうか?

今号に掲載いたしました東京研修や皆様との建築見学ツアーを通して

社員一同、より一層感性を磨き、今後の建物創りに活かしていきたいと思います。

2014年の「B!-co」も益々元気に東海・ビルドらしい建物を多岐に渡ってご紹介をしていきます。本年も東海・ビルドをよろしくお願ひいたします。

未筆となりましたが、皆様にとって良い一年になりますよう、お祈りいたします。

TOKAI-BUILD NEWS 「B!-co」編集部

株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特-22)第49209号 宅地建物取引業 知事(3)第18792号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店

〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

☎ 052-772-9100 (代)

